

若手研究者海外学会出席助成に関する要項

1. 若手研究者を対象として、海外で開催される国際学会・国際シンポジウム等に参加し、作物学に関する研究成果を公表するための渡航費の一部補助を行い、若手研究者間の国際交流及び作物学研究の発展を図る。また、海外在住会員が、日本国内で開催される国際学会・国際シンポジウム等に参加する場合も助成の対象とする。
2. 助成の対象は、本助成を受けていない本会会員（学生会員も含む）で申請する学会等の開催年次で37歳未満の者とする。申請のあった学会出席について、他の補助金から旅費を支出する場合には、その助成額を勘案して本会からの助成額を調整する。
3. 助成金額は1件あたり10万円以下で毎年30万円を限度として支援を行う。助成事業の経費は、海外交流基金その他をもってあてる。
4. 2019年前期分募集では、2020年4月から2020年9月開催の学会等への参加者若干名を募集する。2020年1月10日（金）を締切として、申請書（ホームページからダウンロード）を受け付ける。申請者は、本会所定の申請書に必要事項を記入し、正・副各1部を本会庶務幹事宛に郵送する。なお、申請者は、申請時点において本会会員（学生会員を含む）でなければならない。
5. 助成対象の選考・決定は申請書に基づき、1カ月以内に海外交流推進委員会が行う。選考は、参加予定会議の重要性、申請者の研究実績・将来性および財政的援助の必要性などを考慮して行う。選考結果は庶務幹事が申請者宛に通知する。
6. 助成金は出発の1カ月前までに指定口座に振り込む。都合により渡航できなくなった場合には、支援金全額を速やかに返済するものとする。帰国後1カ月以内に、出席した学会についての参加報告（1000字程度）を庶務幹事へ提出し、日本作物学会紀事の記事として掲載することとする。参加学会においてPlant Production Scienceの広報活動を行うとともに、発表内容は原則としてPlant Production Scienceに論文投稿する。

年度若手研究者海外学会出席助成申請書

年 月 日

日本作物学会事務局 御中

申請者氏名 (フリガナ)	学位 :
印 生年月日 (西暦)	年 月 日 (歳)
所属機関	身分 :
所属住所〒	
電話 :	FAX : E-mail :
自宅住所〒	
電話 :	FAX : E-mail :
出席学会・会議名	
日本語名	
英語名	
出席学会・会議開催地	参加者総数(予想).....名
発表タイトル
学会・会議開催期間	年 月 日より 年 月 日まで 計 日間
助成希望額	
往 路 都市名 () 発 → 都市名 () 着	
復 路 都市名 () 発 → 都市名 () 着	
航空運賃は往復の金額 (安い航空運賃を基準) を記入する。往復路が異なる場合は、その理由とそれぞれの片道運賃の合計を記入する。参考として学会参加費を現地通貨で記入する。給付希望額は 10 万円以内とする。	
航空運賃額 往復合計 _____ 円	学会参加費 _____
	給付希望額 _____ 円
往復路が異なる理由 :

他の団体への助成申請	
I. 有り・無し (○をつける)	II. 申請先..... 金 額.....円
学会・会議で発表する内容の概要	
申請者の研究歴 (研究を遂行した機関等も記載)	
申請者の業績 (代表的論文 3 編以内, 別号も含む)	
1. 2. 3.	
推薦書 (指導教官または 35 歳以上の作物学会員)	
推薦者所属..... 職 名..... 氏 名..... 印	

注：助成の対象は、申請する学会等の開催年の1月1日で37歳未満の者とする。

申請時、助成時において当該年次の年会費の振り込みが確認されなかった場合には、申請の受付ならびに採択を取り消す場合がある。申請には、本申請書 (A4 サイズで 2 枚) を用いること。